



迫力のレースに大歓声

10/14 第38回 観光草競馬大会

安曇野競馬愛好会が主催する第38回安曇野市観光草競馬が10月14日、穂高牧にある西部スポーツゾーン牧運動場で開催されました。

この日は、市内や県内外から競走馬やポニーなど約60頭が出場しました。秋空の下、競走馬はスピード感のあふれる迫力ある走りで、ポニーはかわいらしい走りで観客を魅了しました。多くの家族連れなどでにぎわった会場からは、レースごとに大きな声援が送られていました。



心地良い汗を流す

10/15・22 5地域で市民運動会

安曇野市になって初めての地域運動会が10月15日、豊科・三郷・堀金・明科の4地域で行われました。

このうち明科の龍門湖公園運動広場で行われた明科市民体育祭には、子どもからお年寄りまで約1,300人が参加して、心地よい汗を流しました。かけっこや大玉送り、綱引きのほか、分館対抗の競技なども行われ、選手たちには大きな声援と拍手が送られていました。

なお、22日には穂高地域の運動会が穂高東中学校で行われました。

秋風に吹かれ快走

10/8 安曇野マラソン 11/5 アップルマラソン

さわやかな秋空のもと、安曇野を駆け抜ける安曇野マラソンとアップルマラソンが多くランナーが参加して行われました。

10月22日に穂高の牧運動場とその周辺で行われた第23回安曇野マラソンには、市内外から約400人が参加。距離や年齢、男女別など16の部門に分かれて、健脚を競いました。(写真下)

また、11月5日に三郷の小倉グラウンドを発着点として行われた第20回アップルマラソンin安曇野には、市内外から約1,300人が参加。赤く色づき収穫を待つりんご畑の中を選手は走り、心地良い汗を流しました。(写真上)

なお、両大会は、今年で終了となり、今後は市として新たなイベントを企画する予定です。



5会場で一斉に美術展

10/28 安曇野アートリレー

安曇野アートリレー(同実行委員会主催)のオープニングイベントが10月28日、豊科の法蔵寺で行われました。

安曇野アートリレーは、市内の寺など5会場で一斉に開かれる美術展で、市の誕生1周年を記念し、5つの地域の人々の心をひとつに結ぶ心の原風景探しの場として市民など約50人でつくる実行委員会を中心となり、今回初めて企画しました。

この日は、「志多ら」による和太鼓の演奏のあと、出展者や地域史研究者らによるパネルディスカッションが行われました。実行委員長の中島大道さんは「限られた場所でなく、心の地図をたどるような場所で行うことができた。感無量です」とあいさつしました。

この催しは、11月5日まで開催され、安曇野高橋節郎記念美術館と三郷貞享義民記念館では、木彫教室や石彫教室も行われました。

PETで花を咲かそう

10/19 穂高南小 ペットフラワー教室

PET(ポリエチレンテレフタレート)素材を再利用した花の飾り物ペットフラワー教室が10月19日、穂高南小学校で行われました。

この日は、1学期からごみや環境について勉強を続けてきた同校4年生が、ペットフラワー作りを体験しました。花の部分は、卵パックの膨らんだところを切り取り色を付け、アルコールランプの熱で柔らかくし整形します。熱でPET素材がクニャリと変形する様子に、子どもたちは興味津々でした。小笠原教明校長は、「普通なら捨ててしまう物でも工夫次第で再利用できると知ること、物を大事にする気持ちや環境を守ろうという意識につながるのでは」と話していました。



ながい太巻きずしが完成

10/29 ほりがね特産祭り

第11回ほりがね特産祭りが10月29日、旬の味ほりがね物産センターで行われました。

この日は、堀金特産のきびを使ったもちつき大会、紅白のもち投げ、太巻きずし作り、今が旬の地元農産物や友好交流都市である神奈川県真鶴町の海産物などの販売も行われました。このほか、unitMy(ユニットマイ)と市内の小学生で構成するひまわりキッズのステージも行われ、会場を盛り上げました。太巻き作りでは、参加者全員が息を合わせたのりを巻き、約14kmの太巻きずしを完成させました。会場には大勢の人が訪れ、秋の味覚を満喫していました。